

その他施策の 取り組みの概要

道路整備の取組：経路の分散(ハシゴ道路) - 施策No.1 沖縄総合事務局

■南北を走る強固な【3本の柱】

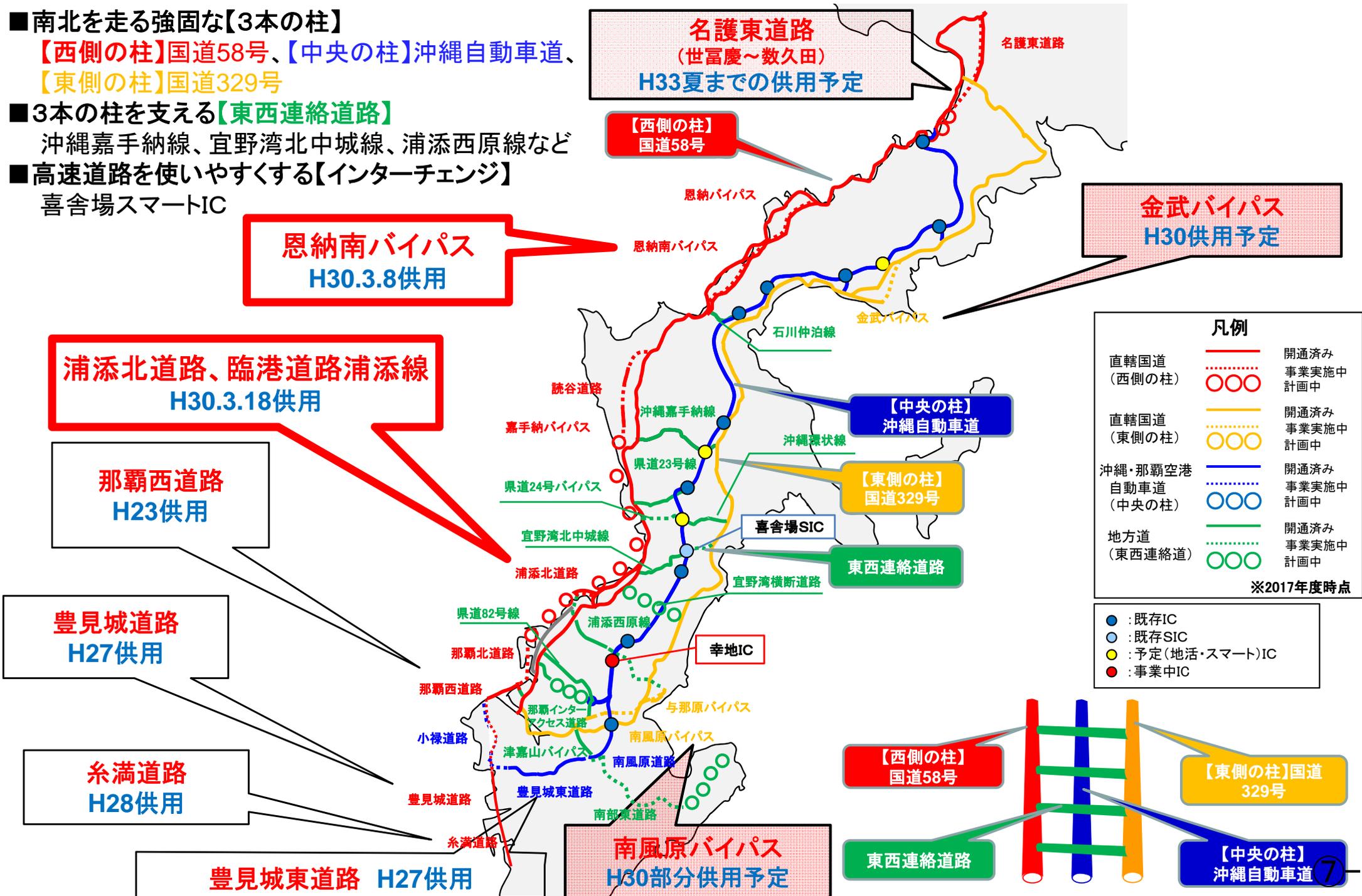
- 【西側の柱】国道58号、【中央の柱】沖縄自動車道、【東側の柱】国道329号

■3本の柱を支える【東西連絡道路】

沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線、浦添西原線など

■高速道路を使いやすくする【インターチェンジ】

喜舎場スマートIC



名護東道路
(世富慶～数久田)
H33夏までの供用予定

【西側の柱】
国道58号

金武バイパス
H30供用予定

恩納南バイパス
H30.3.8供用

浦添北道路、臨港道路浦添線
H30.3.18供用

那覇西道路
H23供用

豊見城道路
H27供用

糸満道路
H28供用

豊見城東道路 H27供用

南風原バイパス
H30部分供用予定

凡例

直轄国道 (西側の柱)		開通済み
		事業実施中
		計画
直轄国道 (東側の柱)		開通済み
		事業実施中
		計画
沖縄・那覇空港自動車道 (中央の柱)		開通済み
		事業実施中
		計画
地方道 (東西連絡道)		開通済み
		事業実施中
		計画

※2017年度時点

- : 既存IC
- : 既存SIC
- : 予定(地活・スマート)IC
- : 事業中IC

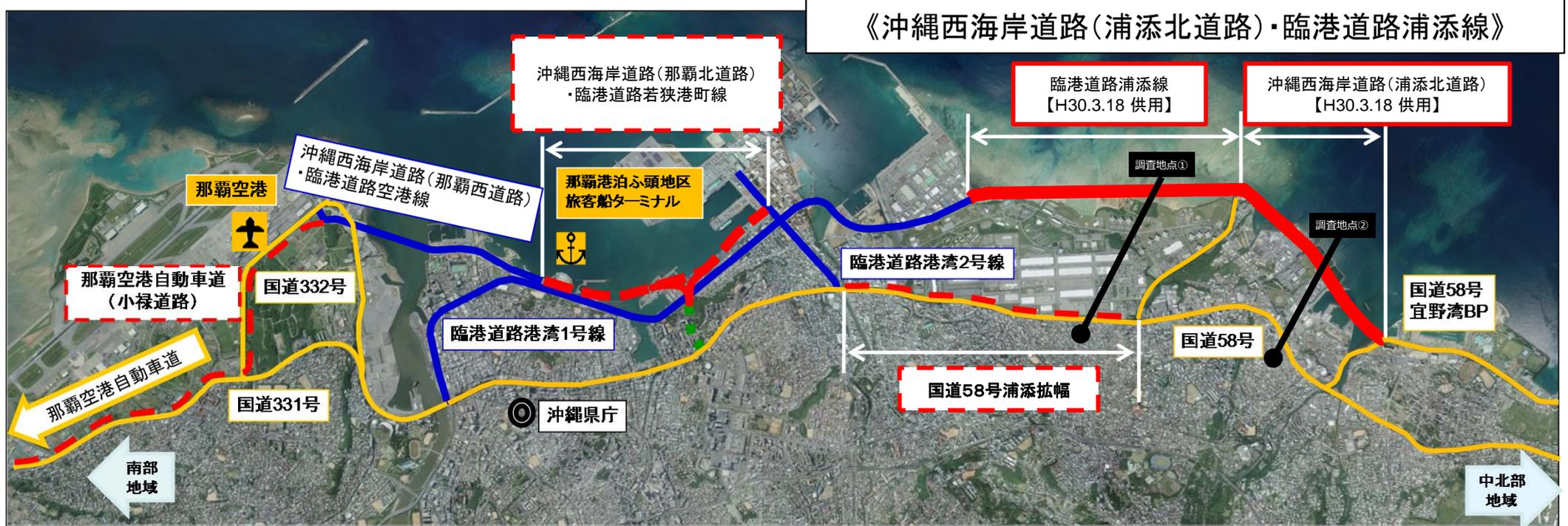
【西側の柱】
国道58号

【東側の柱】
国道329号

東西連絡道路

【中央の柱】
沖縄自動車道

○沖縄西海岸道路(浦添北道路)・臨港道路浦添線は、平成30年3月18日供用開始



○浦添北道路

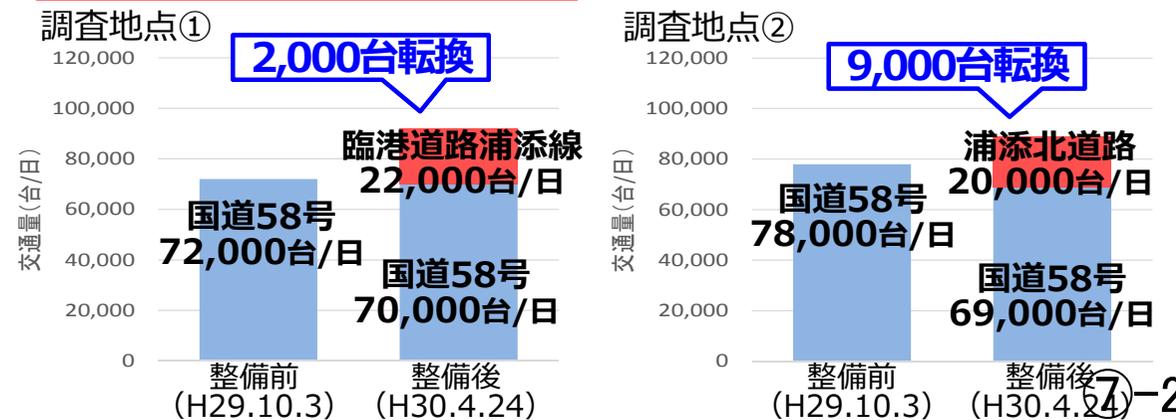


浦添北道路・臨港道路浦添線へ交通が転換

浦添北道路では、20,000台/日の交通量を観測。

臨港道路浦添線では、22,000台/日の交通量を観測。

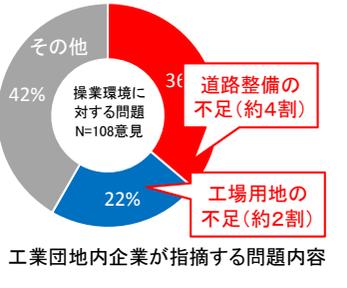
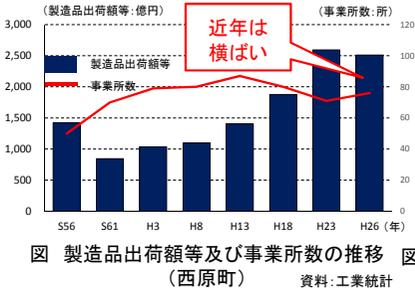
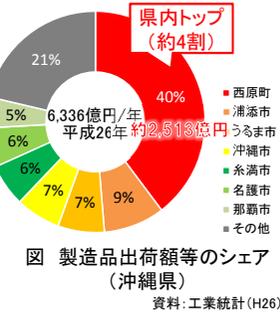
国道58号の交通が浦添北道路へ転換。



- 平成29年度より西原道路について計画段階評価に着手
- 社会資本整備審議会道路分科会沖縄地方小委員会をH30.3.12に開催し交通や地域の現状と課題を確認し政策目標(案)を設定
- 現在小委員会にて確認した内容や道路の必要性について地域住民や企業、関係団体からアンケート等の意見聴取を実施

まちづくりや観光等に関する課題

①県内有数の工業団地における道路整備・工場用地の不足

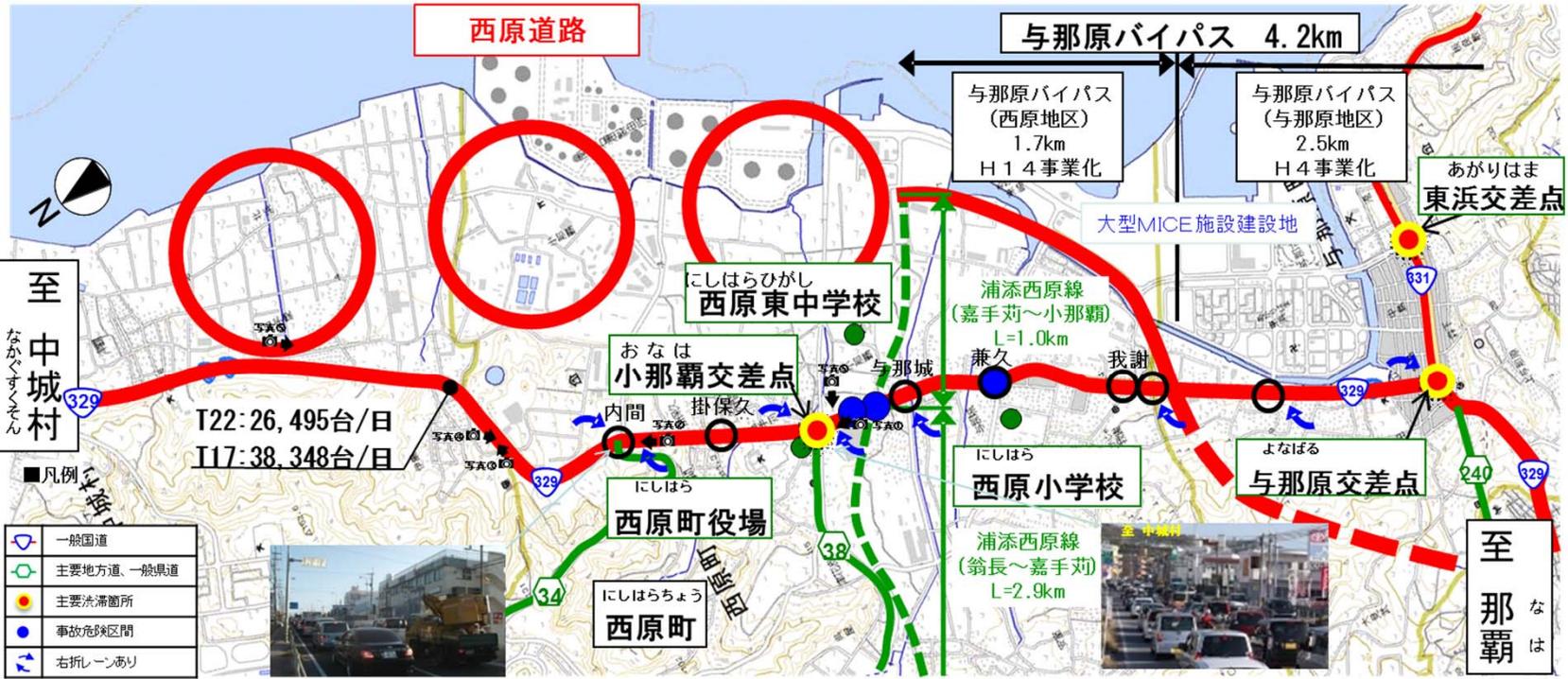


道路交通に関する課題

■交通の集中による渋滞 (東側唯一の幹線道路・幅員も狭小)



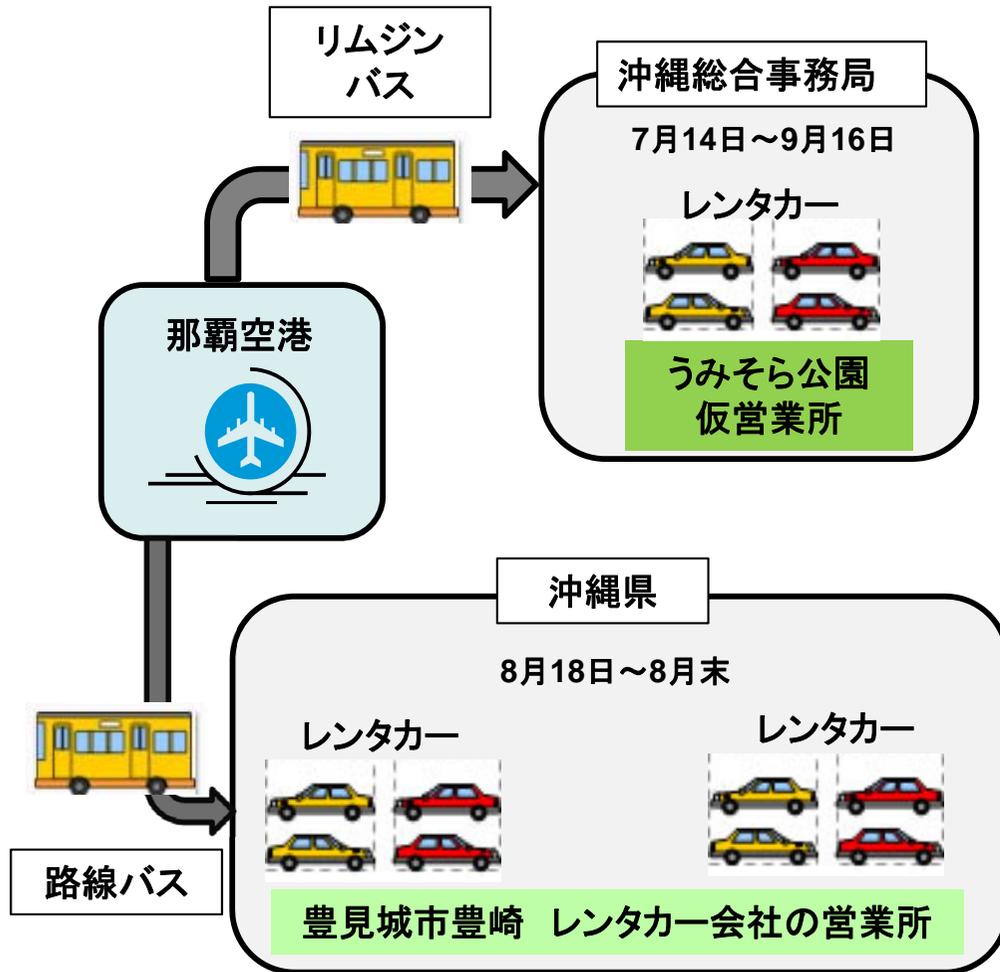
■生活道路への流入 (通学児童登下校時の安全性低下)



国道329号の渋滞状況(内間交差点)

国道329号の渋滞状況(小那覇交差点)

- 沖縄総合事務局と沖縄県は夏ピーク時にバスで利用者をレンタカー営業所へ送迎する社会実験を実施。
- 沖縄総合事務局では、7月14日から9月16日の間、那覇市若狭のうみそら公園の仮営業所への送迎を実施。
- 沖縄県では、8月18日から8月末までの間、豊見城市豊崎のレンタカー会社(2社)の営業所への送迎を実施。



■OTSレンタカー 路線バス 空港OTS線



空港OTS線 料金

OTSレンタカー
ご利用のお客様は

¥0

OTSレンタカーご利用のお客様は無料でご利用いただけます。

一般乗車の場合

大人250円 小人130円
大人身障130円 小人身障70円

大人:中学生以上の者/小人:小学生以下の者
小児:同伴者1名につき1名は無賃扱い。
2名からは小人運賃を適用する。

空港OTS線 運行時刻表

1 OTSレンタカー 臨空豊崎営業所発	2 那覇空港 国内線発	3 那覇空港 国際線発
8:00	8:15	8:17
8:30	8:45	8:47
9:00	9:15	9:17
9:30	9:45	9:47
10:00	10:15	10:17
10:30	10:45	10:47
11:20	11:35	11:37
11:50	12:05	12:07
12:20	12:35	12:37
12:50	13:05	13:07
13:20	13:35	13:37
13:50	14:05	14:07

路線バスですので、定刻になったら出発致します。
路線バスが定員(40名)に達している場合には、次回路線バスをご利用ください。
レンタカー送迎業務の別はOTSレンタカー送迎車をご利用ください。
(OTSレンタカーご利用の方)
一般乗車のお客様はOTSレンタカー臨空豊崎営業所にてご購入ください。

出典)OTSレンタカー <https://www.otsinternational.jp/otsrentacar/>

- OTSレンタカーは、2018年4月から独自で空港と豊崎にある営業所を結ぶ路線バスを導入。
- JTB沖縄・北部観光バスは、同年5月から共同出資により、空港と本部町を結ぶシャトルバスを導入。
- いずれも空港を利用する観光客だけでなく、居住者を含む一般の方も利用可能となっており、観光客のみならず居住者の利便性を向上させることも狙った取組となっている。

■OTSレンタカー 路線バス 空港OTS線



■JTB沖縄・北部観光バス エアポートシャトル



空港OTS線料金

OTSレンタカー
ご利用のお客様は

¥0

OTSレンタカーご利用のお客様は無料でご利用いただけます。

一般乗車の場合

大人250円 小人130円
大人身障130円 小人身障70円

大人：中学生以上の者/小人：小学生以下の者
小児：同伴者1名につき1名は無賃扱い。
2名からは小人運賃を適用する。

空港OTS線 運行時刻表

1	2	3
OTSレンタカー 臨空豊崎営業所発	那覇空港 国内線発	那覇空港 国際線発
8:00	8:15	8:17
8:30	8:45	8:47
9:00	9:15	9:17
9:30	9:45	9:47
10:00	10:15	10:17
10:30	10:45	10:47
11:20	11:35	11:37
11:50	12:05	12:07
12:20	12:35	12:37
12:50	13:05	13:07
13:20	13:35	13:37
13:50	14:05	14:07

路線バスですので、定刻になったら出発致します。
路線バス(1人定員40名)に準じている場合には、次回路線バスをご利用いただき、レンタカー送迎車両のみのOTSレンタカー送迎車をご利用ください。
(OTSレンタカーご利用の方)
一般乗車のお客様はOTSレンタカー臨空豊崎営業所にてご乗降ください。

出典)OTSレンタカー <https://www.otsinternational.jp/otsrentacar/>

出典)沖縄エアポートシャトル <https://www.okinawa-shuttle.co.jp/>

- 那覇空港周辺道路では激しい交通渋滞が発生し、那覇空港接車帯(通称「中ノ島」)では利用者で溢れかえる状況が発生
- そこで、波の上うみそら公園施設内にレンタカー営業所を設置し、当営業所まで送迎バスにより送迎することで、公共交通の利便性向上と中ノ島の混雑緩和を図るための実証調査を実施
- また、沖縄県が実施する、路線バスを活用したレンタカー利用者を送迎する実証事業とも連携し、それぞれの効果検証を実施し、公共交通の利便性向上、混雑緩和、観光客の満足度向上に向けた課題を抽出することで、次年度以降に繋げることを目的とする

実証調査の概要

- ◆実証期間:平成29年7月14日(金)~9月16日(土)、10:00~17:00
- ◆参加事業者:○レンタカー事業者 ニッポンレンタカー沖縄
○バス事業者 琉球バス交通
- ◆運行区間:那覇空港~波の上うみそら公園間
- ◆貸渡場所:公園内学習室を営業所として使用
- ◆空港出発箇所:○7月14日(金)~7月31日(月) 空港①乗り場
○8月1日(火)~9月16日(土) 中央バスプール

結果

- ・期間中の貸渡件数は計491件
- ・中ノ島からの出発の削減人数は約38,000人
- ・特に、中央バスプールを使用した8/1以降は、769人分/日・平均の中ノ島からの出発を削減
- ・夏季ピーク期における中ノ島上でのレンタカー送迎バス待合者の滞留は、465人(H28)→303人(H29)と、約35%減少
※本事業及び沖縄県事業の実証効果



- 様々な課題を抱えている**沖縄本島を対象**に、更なる観光振興を図ることを目的として、沖縄観光の行動(周遊パターン)を把握するため、持続的に**交通ビッグデータの収集・分析**を行い、**地域経済活性化**、**観光客の満足度向上**に繋がる**活用方策(社会実験として試行)**について検討・提言する

テーマ① (安全)

(外国人)レンタカー利用者の安全性の確保

- 外国人観光客が増加し、日本の交通ルールに不慣れな外国人レンタカー利用者の事故が急増
- 一方で、その危険箇所は**定量的に把握できていない**
→ ETC2.0プローブデータにより観光客が引き起こし易い**危険挙動箇所(急ブレーキ)**を把握し、レンタカー貸与時(出発時)、現地にて**注意喚起**を実施

テーマ② (快適)

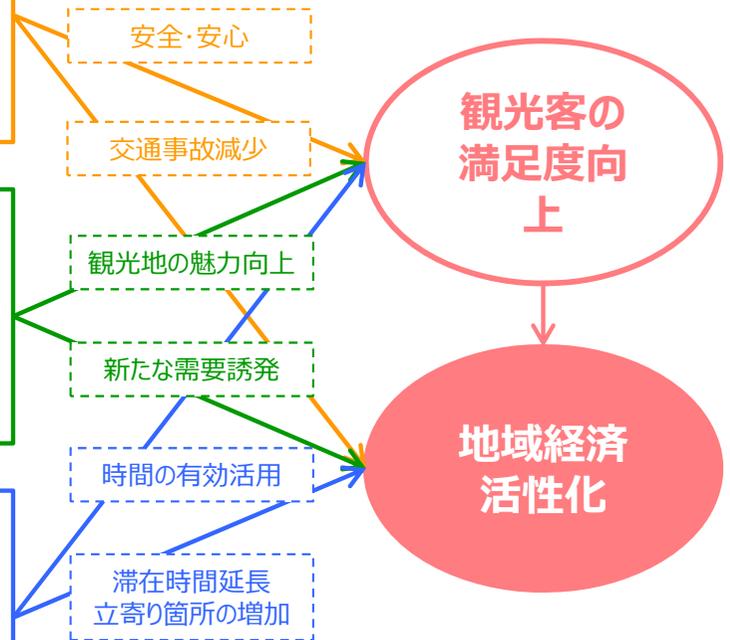
小さな観光・地域資源の連携による新たな魅力創出

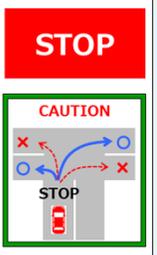
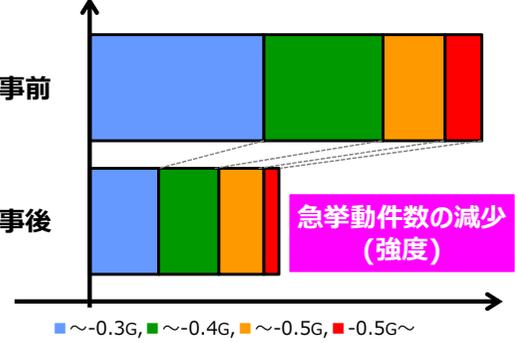
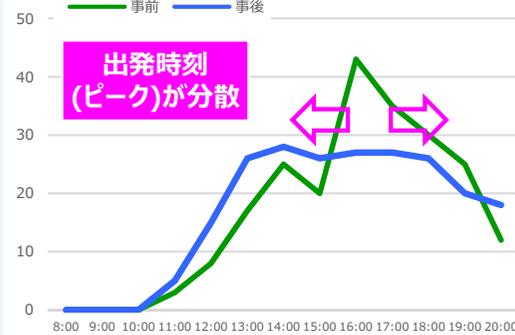
- 沖縄本島は、著名な観光資源が多数存在するが、**特定の観光地に集中・道路が混雑**するため、点在する**小さな観光・地域資源**を連携させ、**交通の分散**を図るとともに、**観光地としての魅力を更に向上**させる
→ ETC2.0プローブデータにより**観光客の立寄り状況・観光地間のつながり**等を整理し、適切な位置において**観光情報を提供**し、**小さな観光資源等への立寄り**を誘発

テーマ③ (円滑)

信頼性の高い旅行時間情報の提供(シームレスな観光交通の実現)

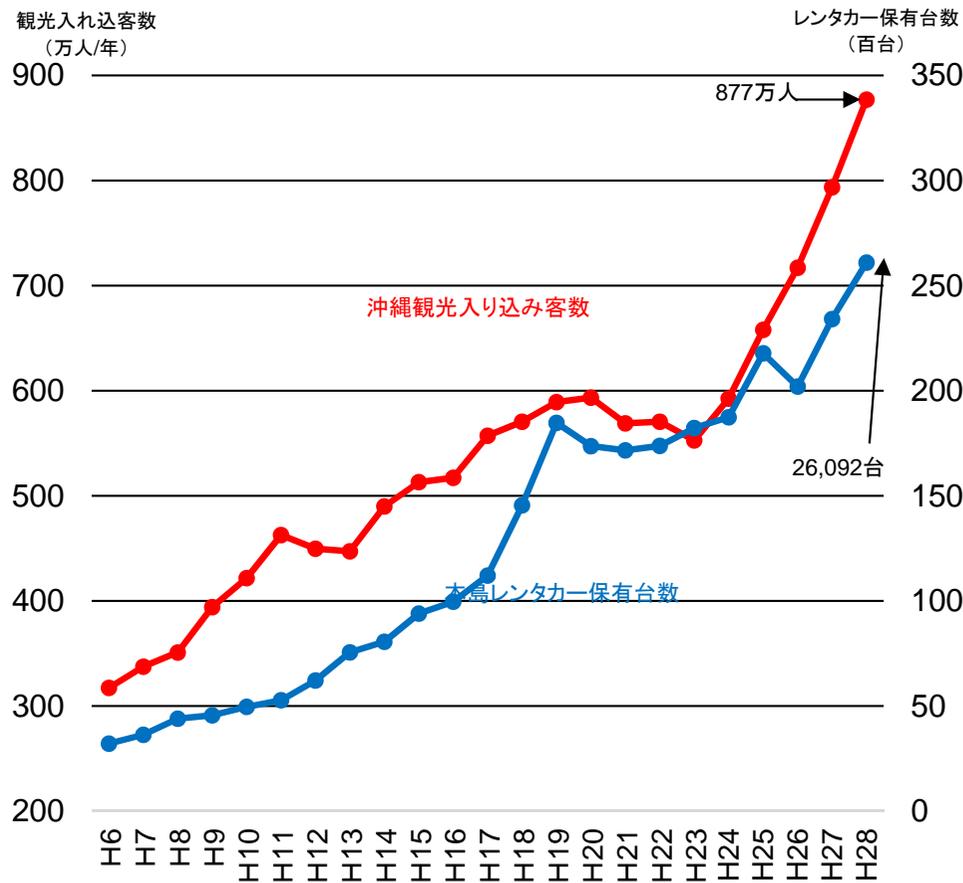
- 都市内の慢性的な渋滞に加え、観光ハイシーズンには観光交通が集中し、地方部でも交通渋滞が発生しており、今後、更に増加する観光客の満足度向上のため、時間を有効に活用させることが必要
→ ETC2.0プローブデータにより**主要観光地間の走行経路**を確認し、**信頼性の高い旅行時間情報を生成・情報提供**を実施(→バッファ:滞在時間延長,ワンモア観光)



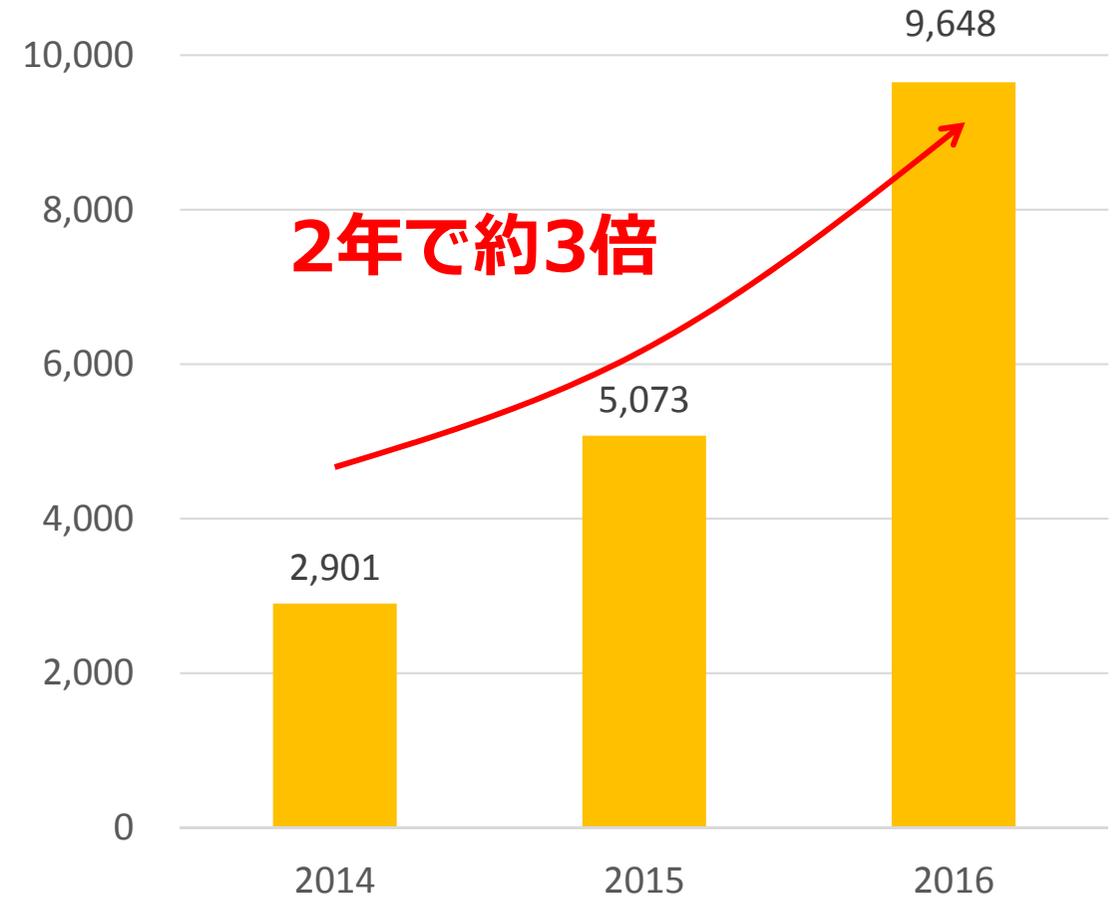
		テーマ①:(外国人) レンタカー利用者の安全性の確保	テーマ②:小さな観光・地域資源の 連携による新たな魅力創出	テーマ③:信頼性の高い 旅行時間情報の提供
社会実験イメージ		<ul style="list-style-type: none"> 規制標識,注意看板の役割をもつ看板を作成・設置 その際、設置箇所を右側にするなど、急挙動を起こしやすい外国人(台湾・韓国)にとって見やすい位置とする 	<ul style="list-style-type: none"> 出発地・休憩地で東海岸ルートを案内するチラシを配布 (旅行計画段階)HPでも情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 美ら海水族館へのポスター貼付 出発地・休憩地等でチラシ配布 (旅行計画段階)HPでも情報提供 
効果検証	ETC2.0	 <p>急挙動件数の減少(強度)</p> <p>■ ~-0.3G, ■ ~-0.4G, ■ ~-0.5G, ■ ~-0.5G~</p>	 <p>経路の分散</p> <p>立寄り増加</p>	 <p>出発時刻(ピーク)が分散</p>
	その他データ	<ul style="list-style-type: none"> (将来)ドラレコを活用する? 	<ul style="list-style-type: none"> HPのアクセス数(端末別[PC,スマホ],国籍・言語別) 	<ul style="list-style-type: none"> HPのアクセス数(端末別[PC,スマホ],国籍・言語別)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用した動画視聴による疑似体験を通じて、外国人レンタカー利用者から看板の見やすさ(設置位置,内容等)等についてヒアリング調査 	<ul style="list-style-type: none"> 左記と同様、レンタカー利用者へヒアリング調査を実施し、情報提供による行動変更やその意向を調査 <ul style="list-style-type: none"> - 立寄り箇所(経路),出発時刻の変更の有無 - 今後の立寄り意向 - (沖縄に来訪する)友人等への紹介 など 	

○外国人レンタカー利用者の事故件数の増加が顕著

◆観光客の移動手段はレンタカー(約6割)



◆外国人レンタカーの事故件数の推移(沖縄県)

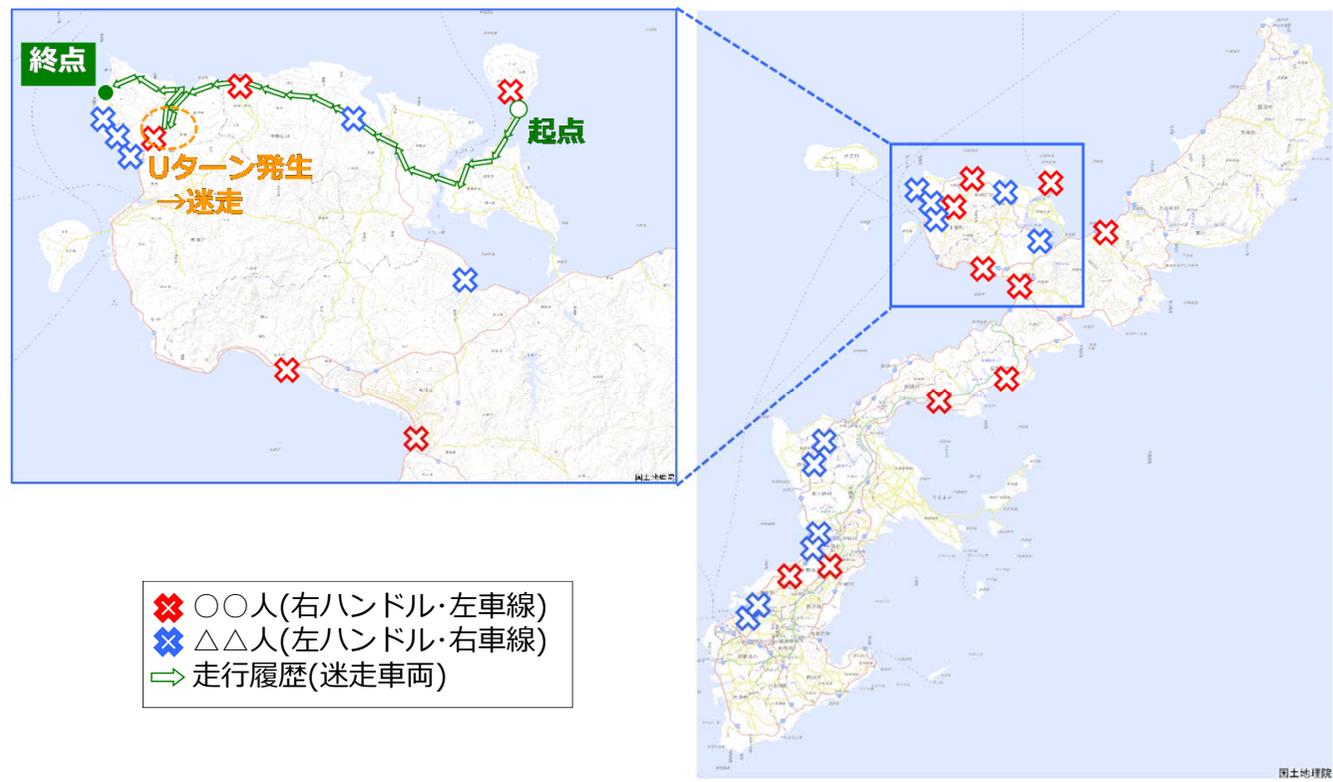


【県外観光入込客数とレンタカー保有台数の推移
資料:運輸要覧、入域観光客統計概要

出典)沖縄県レンタカー協会

- 急ブレーキデータ・走行経路データ等の交通ビッグデータを活用することによる、外国人特有(国籍別など)の事故危険・迷走箇所の特定に期待
- この結果をもとに、言語別のパンフ[出発前]・カーナビにて情報提供

国籍別_急ブレーキ箇所・迷走交通状況等の整理(イメージ)



情報提供(イメージ)



- 外国人観光客の急挙動が多い交差点の上位箇所が集中する**本部半島**に着目。
- 走行台数あたりの急挙動発生件数(急挙動発生割合(件/千台))を沖縄県民と比較し、「**地点1**」「**具志堅西**」交差点を外国人特有の事故危険箇所として特定し、ピンポイント事故対策を検討

観光客の立寄り箇所と急挙動発生箇所



外国人特有の事故危険箇所

交差点名称	外国人観光客 (ETC2.0プローブ:H29.05~12)			沖縄県民 (ETC2.0プローブ:H29.04~10)		
	急挙動件数	走行台数	急挙動発生割合(件/千台)	急挙動件数	走行台数	急挙動発生割合(件/千台)
地点1 ぐしけんにし 具志堅西	30	215	139.5	17	411	41.4
地点2	17	202	84.2	1	311	3.2
大浜	26	381	68.2	19	874	21.7
地点3	8	118	67.8	24	1,357	17.7
地点4	11	163	67.5	8	407	19.7
地点5	11	165	66.7	4	474	8.4
地点6	12	200	60.0			
地点7	9	208	43.3			
地点8	8	188	42.6			
地点9	15	366	41.0			
瀬底大橋	15	374	40.1			
...			



※エリア内で30分以上滞在した車両を立寄りとして判定

※赤字:本部半島(3市町村)

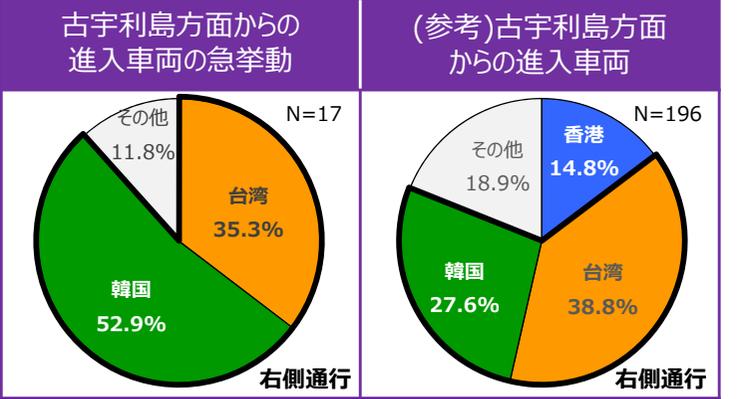
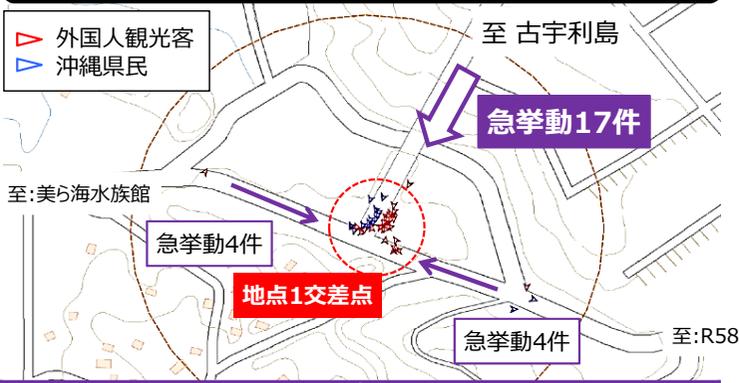
- 交差点直前での急挙動の約7割は古宇利島方面からの進入車両(25件中17件)で、その9割が右側通行の台湾・韓国からの観光客



(要因) 右側通行の台湾・韓国では標識等が道路の右側にあり日本の左側にある標識を見落としていること等が想定

(対策) 注意を促す看板を右側に設置して案内 (右側・左側、交互に設置して効果検証)

急挙動の発生状況



※外国人観光客を対象に集計

ピンポイント対策(:看板の設置)

100~150m 手前に設置

交差点手前に設置

現状(標識等)

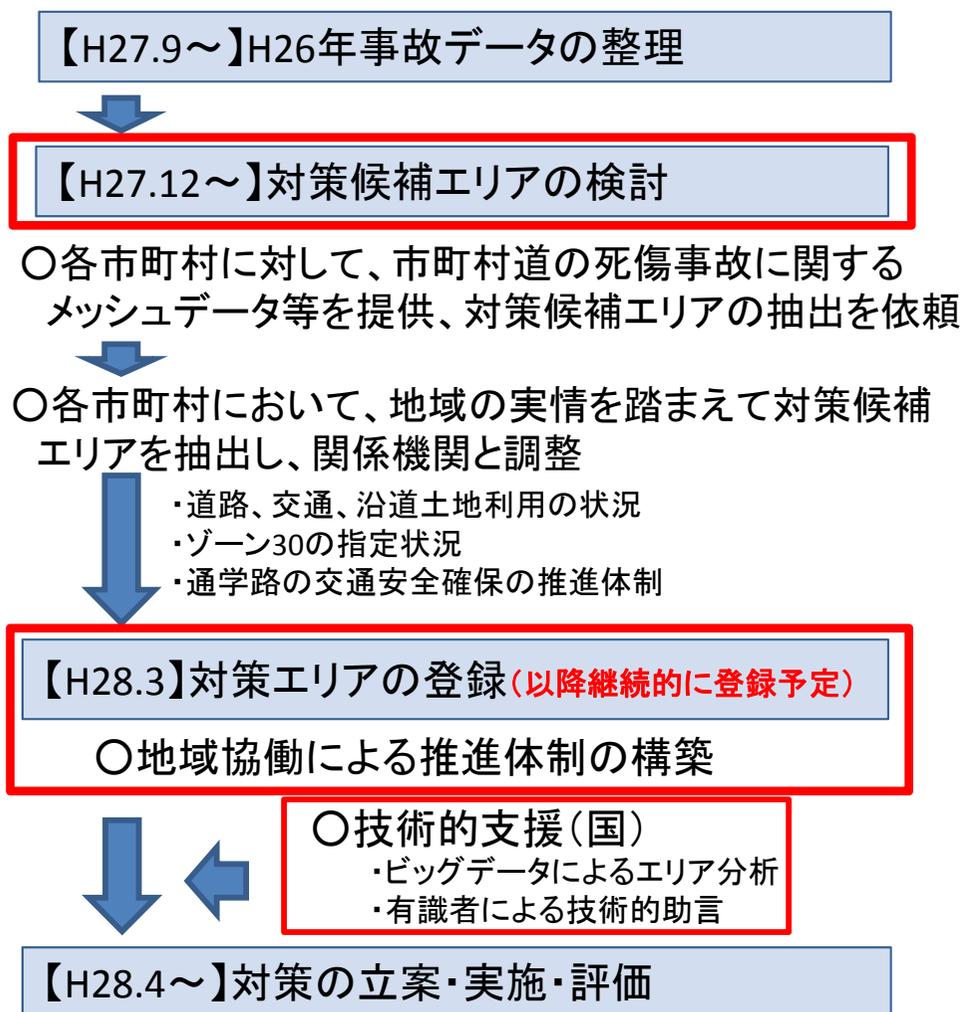
新たに設置

既存標識

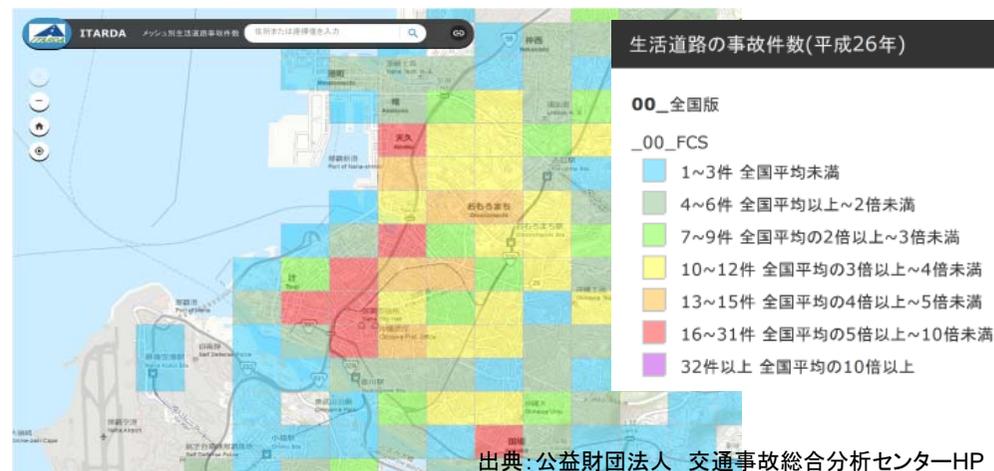
設置イメージ

- 平成27年度から生活道路対策の取り組みを実施
- 各市町村に死傷事故に関するデータを提供、生活道路対策エリアの登録、協働体制を構築

■生活道路の対策エリアの取組フロー



■死傷事故に関するメッシュデータ



■ETC2.0プローブデータを用いたエリア分析



○暮らしのみちを安全にする対策により、エリアの中は、歩行者・自転車中心の空間へ

進入口を入りにくくする



スムーズ歩道



ライジングボラード

走行速度を抑制する



凸部(ハンプ)



狭さく



シケイン

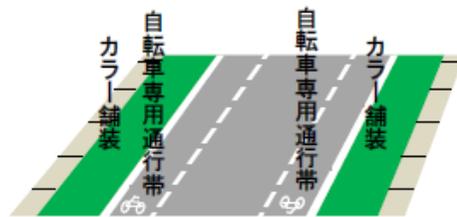


○公安委員会により実施される交通規制、交通管制及び交通指導取締りと連携

ゾーン30
(都道府県公安委員会)



歩行者・自転車の幅員を優先して確保する



(イメージ)

危険箇所を対策する



防護柵

- 沖縄では16箇所を生活道路対策エリアとして登録(平成29年12月現在)
- うるま市、沖縄市、北中城村については、平成29年2月8日に現地点検実施し、対策案を立案
- 浦添市牧港・港川地区については、現況分析を行い、通学路WS*を支援
- 浦添市仲西小学校区については、現況及び対策済み(ハンプ設置)箇所の効果検証を分析
- 石垣市については、現地状況調査により現状を把握、今後、対策を検討

※WS(ワークショップ): 特定の課題について関心のある方々が話し合い、解決策等の検討を行う場。
参考文献: 市民参画の道づくり 編集・発行 市民参画型道路計画プロセス研究会・(株)ぎょうせい



▲生活道路対策エリアの位置図

生活道路対策エリア一覧表(H29. 12月現在)

	市町村	地区名	取り組み
平成27年登録	うるま市	石川1丁目地区	現地点検、対策案の検討
	うるま市	宮里地区	同上
	沖縄市	宮里地区	同上
	沖縄市	諸見地区	同上
	沖縄市	越来地区	同上
	沖縄市	中の町地区	同上
	北中城村	喜舎場地区	同上
平成28年登録	浦添市	牧港地区	現況分析、通学路WS支援
	浦添市	港川地区	同上
	浦添市	仲西小学校区	現況分析、対策効果検証
	石垣市	新栄地区	現地状況調査
平成29年登録	浦添市	神森小学校区	
	浦添市	内間小学校区	
	浦添市	宮城小学校区	
	浦添市	当山小学校区	
	南城市	仲間地区	

- 沖縄県内の市町村、コンサルタントを対象に、生活道路対策に関するテーブルミーティングを開催
- 生活道路対策の講演、市町村から生活道路対策の取組紹介

概要

- 開催日時: H30. 2. 9 14:30~16:30
- 参加者: 市町村担当者(11団体)
 コンサル(22社)

○次第

- ①これからの生活道路対策(埼玉大学教授 久保田 尚)
- ②生活道路の交通安全の確保に向けた取組
(沖縄総合事務局)
- ③浦添市における生活道路対策の取組(浦添市)

②生活道路の交通安全の確保に向けた取組(沖縄総合事務局)

沖縄総合事務局より生活道路の交通安全対策のフローを説明、テーブルミーティングを実施

ビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策



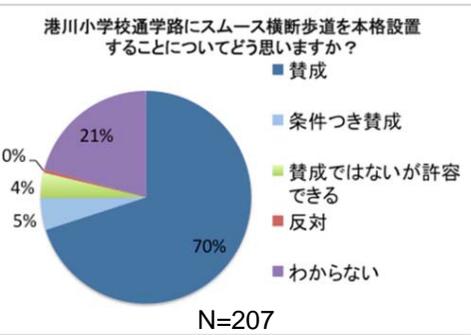
①これからの生活道路対策(埼玉大学教授 久保田 尚)

生活道路対策の必要性、最新動向、各事業者の役割、安全対策のポイント等を講演



③浦添市における生活道路対策の取組(浦添市)

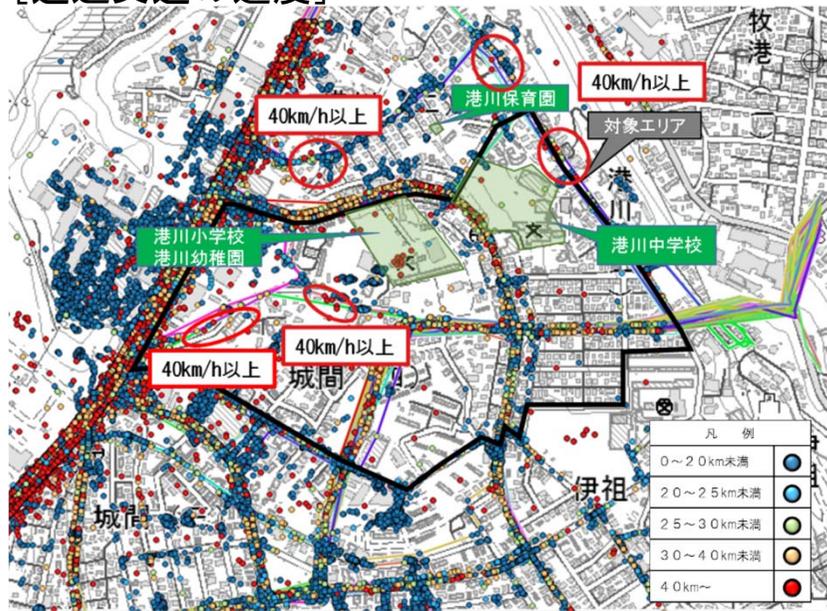
浦添市より生活道路対策の取組を説明



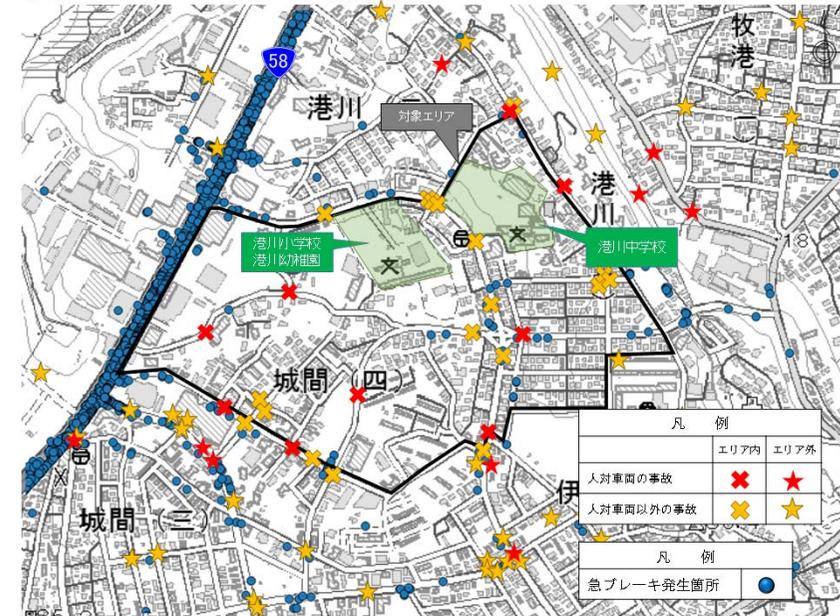
- 平成30年度は、新たに生活道路対策エリア登録された浦添市4地区、南城市1地区について分析及び分析結果の情報提供を実施予定
- 現況分析を踏まえ具体的対策の立案、対策の実施、対策の効果検証等を実施予定

■ビッグデータの分析結果の提供（イメージ）

[通過交通の速度]



[急ブレーキ発生地点]



■県内の生活道路対策事例

仲西小学校前(ハンプ)



仲西小学校前(狭さく)



港川小学校前(横断歩道ハンプ)



港川小学校前(ゾーン30)



生活道路対策効果

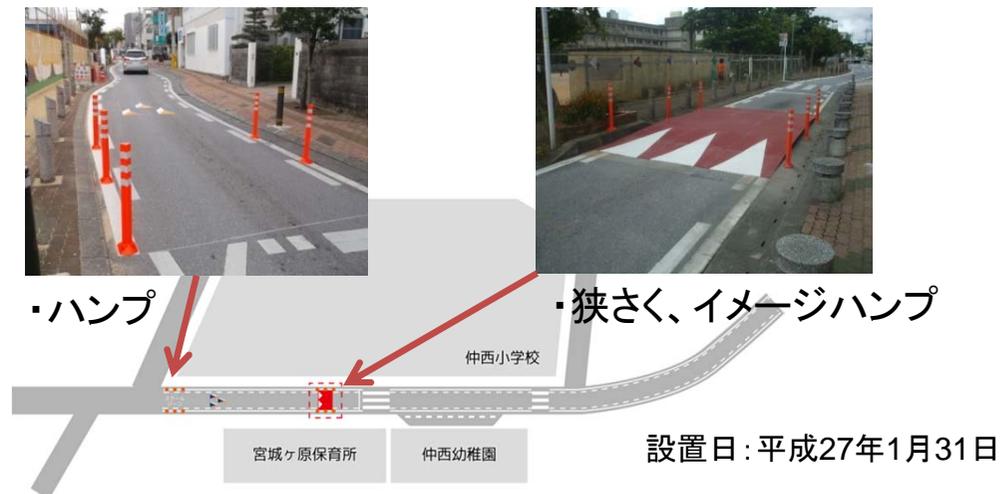
○浦添市仲西地区の取り組み効果

- ハンプ整備後、**30km/h以上の速度の構成比が大幅に減少(29.7%→1.4%)**
- **20km/h未満の速度の構成比が大幅に増加(11.4%→71.6%)**
 - 対策前:平成27年1月 サンプル数:3261サンプル 平均速度:26.4km/h
 - 対策後:平成27年2月 サンプル数:3652サンプル 平均速度:16.8km/h(36.3%減)

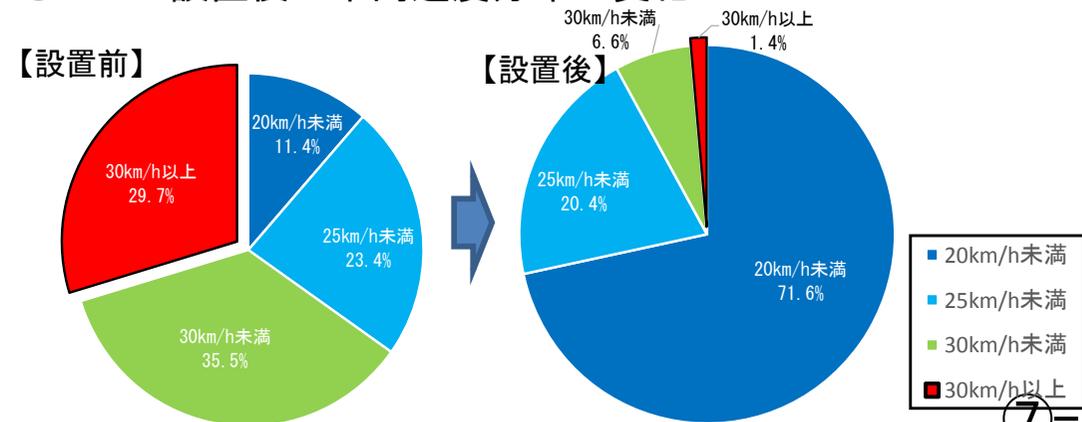
●位置図



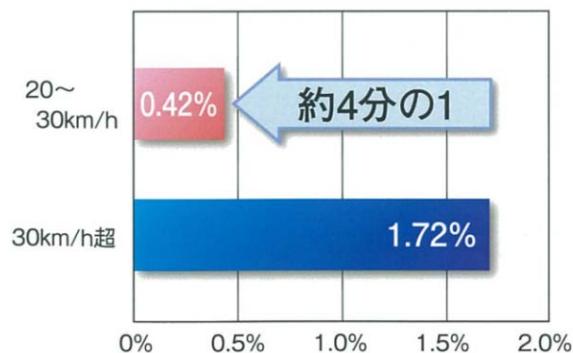
●生活道路対策の実施事例(浦添市仲西小学校前)



●ハンプ設置後の車両速度分布の変化



●生活道路の速度別の致死率



※交通事故データ(ITARDA:平成25年データ)
資料:平成28年6月道路局

- 国道332号は、那覇空港を起点として、市街地に接続することから、来訪者が空港から出て最初に見る沖縄の道路景観であり、沖縄のウェルカムロードとして重要な路線
- 現状は、煩雑な印象、街路樹の健全性低下、強風等での倒伏などによる道路安全性の低下、管理費など様々な課題が存在



①景観形成

- 街路樹の連続性、統一性に欠けている。
- 雑草等の繁茂力が非常に強いことにより、煩雑な印象を与える時期がある。

②街路樹の健全性の現状

- 整備後40年が経過し、健全性が低下している樹木が発生。
- 当該地は、強風の影響など風環境が厳しく、特に台風時等には枝折れ、幹折れが発生する。
- シロアリによる樹幹の食害や菌類の腐朽等により、内部が空洞になっている固体もあり、道路交通上の安全性の低下が懸念される。

③管理

- 管理費が限られているなかで、高い管理頻度を求められている。
- 樹木が大径木化し、1本あたりの管理費が年々増大している。



国道332号

シロアリ食害で空洞になっている。



○道路緑化は、道路交通の安全性と快適性を高めるとともに、沿道環境と一体となって良好な道路景観を創り・育てていくことが重要

○国道332号では、「沖縄への期待が高まる緑」として、沖縄のウェルカムロードらしい道路景観を再生・更新

基本的考え方

沖縄のウェルカムロードとして「沖縄への期待が高まる緑」へ再生・更新する。

方針

方針1：沖縄のウェルカムロードとして“沖縄らしさ”を強調する景観の再生を行う。

- 観光地としてのインパクトを与える景観構成
- 沖縄のイメージを彷彿とさせる樹種構成

方針2：良好な景観と適正な管理が継続する配植デザインとする。

- 車利用者の視線移動に留意したシンプルな植栽構成
- 管理作業の効率化や草刈等が軽減される配植デザイン

方針3：環境の健全性を確保する植栽基盤等の整備や管理を行う。

- 植物の健全性と根系の十分な生育を確保する植栽基盤の整備
- グリーンインフラとして、環境調節機能等を植栽帯に付帯



図3 歩道部立面イメージ（主木：ビロウ）



図4 中央分離帯立面イメージ（主木：トックリヤシモドキ）



表面水の一時貯留機能を高めるとともに植栽の水分供給を補完するための浸透樹（グリーンインフラ）を整備します。

○歩道部【高木＋芝生】

- ・植栽間隔に余裕をもたせ、機械の乗り入れ作業スペースを確保。効率的な維持管理が実施できるよう配慮
- ・低木植栽はポイント植栽とし、芝生管理へ配慮
- ・芝種は防草性の高いセントオーガスチングラス、コウシュンシバを導入

○中央分離帯【アレロパシー植物の活用】

- ・道路防草資材として評価の高いアレロパシー植物(キキョウラン)を密植して防草効果を高める



※管理作業の効率化と管理費用の軽減化に配慮した樹種選定や配植デザインの効果について検証



海側歩道:ビロウとコウシュンシバ



自衛隊側歩道:ビロウとセントオーガスチン ⑦-21

○草花のデザイン

- ・一年を通じてデザイン性の高い彩りある花壇を演出
- ・宿根草やカラーリーフを組み合わせて、植替え手間を軽減するなど維持管理費を抑えた植物構成

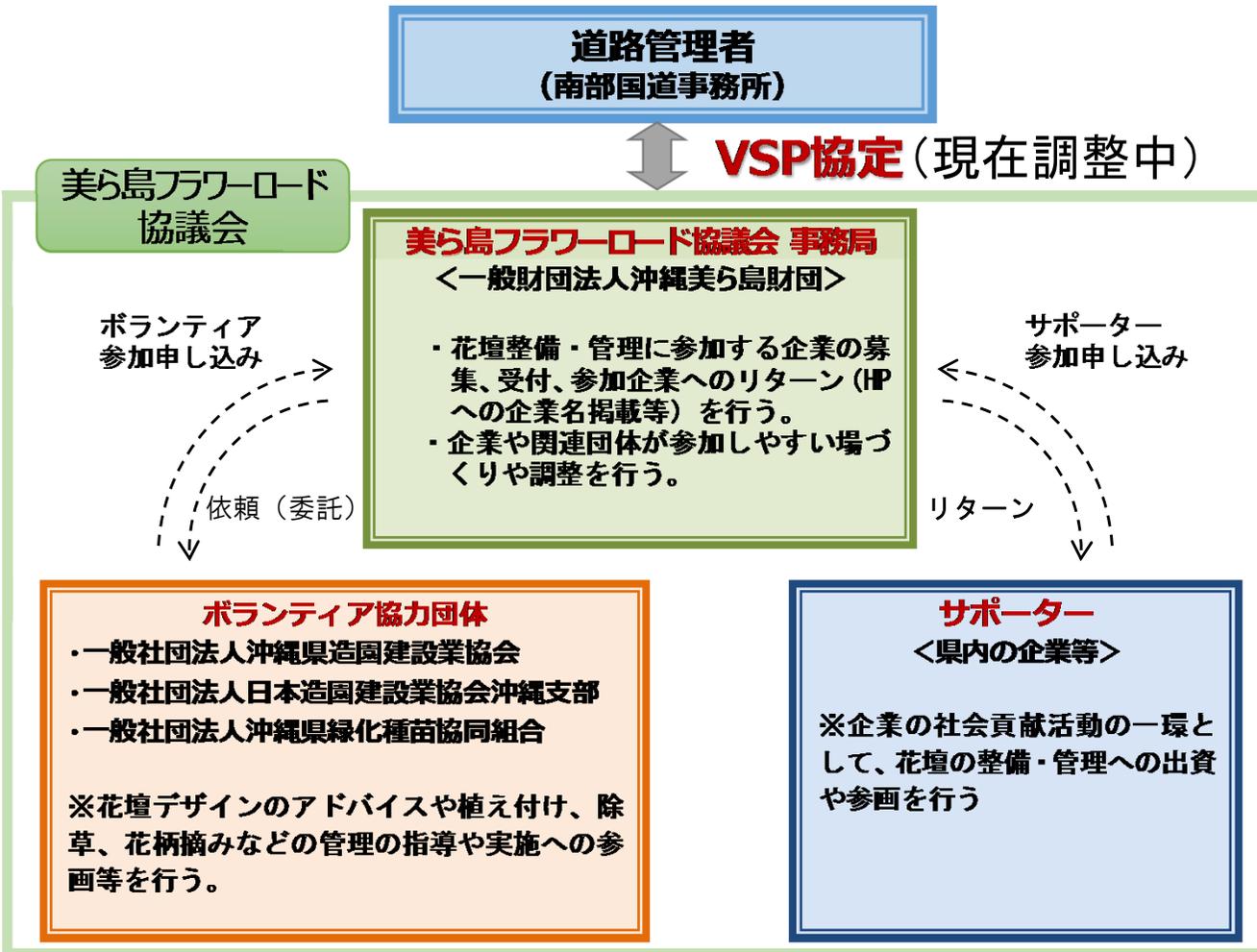
○官民連携

- ・民間を活動の主軸にした花壇整備・管理運営の仕組みづくり



花壇モデル整備事例

- ウエルカムロードの実現に向けて、企業・団体との協働と参画による花壇の維持・管理活動「**美ら島フラワーロードプロジェクト**」を積極的に推進
- 関連団体からなる協議会「美ら島フラワーロード協議会」と道路管理者である南部国道事務所とでボランティア・サポート・プログラム(VSP)協定を締結し、美ら島フラワーロードプロジェクトを運営
- 美ら島フラワーロード協議会の事務局を一般財団法人沖縄美ら島財団におく



～サポータを募集～

※国道332号沿道企業を中心に、サポーターの募集(協賛金の呼掛け)を7月に実施する予定

サポーターの応募チラシイメージ

沖縄路線バス周遊バス

〇JTB、バス会社4社、モノレールと連携して、路線バスの周遊パスを8月5日より観光客向けに販売。

沖縄路線バス周遊バス

料金のご案内
Fare guide
費用説明
費用说明

日程に合わせて選べます！

Can suit any schedule!
可依照日程来自由選擇！
可根据日程自由选择！

販売価格
Sale price
售價 售价

沖縄 路線バス 1日周遊パス OKINAWA 1 Day Bus Pass 沖縄 線路巴士 1日周遊券 沖縄 线路巴士 1日周游券	大人 Adults 成人 成人	¥2,500
	小児 Children 兒童 兒童	¥1,250
沖縄 路線バス 3日間周遊パス OKINAWA 3Day Bus Pass 沖縄 線路巴士 3日周遊券 沖縄 线路巴士 3日周游券	大人 Adults 成人 成人	¥5,000
	小児 Children 兒童 兒童	¥2,500
沖縄 路線バス 1日周遊パス ゆいレールパス OKINAWA 1 Day Bus and Monorail Pass 沖縄 線路巴士 1日周遊券 + 都市單軌電車 "Yui Rail" 沖縄 线路巴士 1日周游券 + 城市單軌電車 "Yui Rail"	大人 Adults 成人 成人	¥3,000
	小児 Children 兒童 兒童	¥1,500
沖縄 路線バス 3日間周遊パス ゆいレールパス OKINAWA 3Day Bus and 1day Monorail Pass 沖縄 線路巴士 3日周遊券 + 市單軌電車 "Yui Rail" 沖縄 线路巴士 1日周游券 + 城市單軌電車 "Yui Rail"	大人 Adults 成人 成人	¥5,500
	小児 Children 兒童 兒童	¥2,750

路線バスで行く、ゆっくりじっくりたっぷり沖縄。

乗換バスターミナル 主要バス路線 ゆいレール

※地図上の路線番号は、その主要観光地の最寄りバス停を通る路線です。 ※バス停名ではありませんのでご注意ください。

当バスの対象となる路線バスの運行はございません

バス乗り方
市内線・市外線
How to ride the buses / within the city / outside the city
巴士搭乘方法 / 市內線 / 市外線

- 乗降時に乗務員に周遊パス券を提示してください。
- ※乗降時に整理券を取る必要はありません。
- 基本的には前方入口より乗降ください。
- ※一部のバス（那覇市内線）は前方から乗車して、後方から下車のバスもございます。ご注意ください。
- Show the bus pass to the staff when boarding and exiting the bus.
- *Basically, board on the bus from the front door.
- *Please be aware that some of the buses (within Naha city) are boarded through the front doors and exited through the rear doors.

上下車時請向乘務員出示周遊券・乘車券約無須領取整理券・一般請從前門上下車・※部分巴士（那覇市內線）是前門上車・後門下車・敬請多加注意。

上下車時請向乘務員出示周遊券・乘車券約無須領取整理券・一般請從前門上下車・※部分巴士（那覇市內線）是前門上車・後門下車・敬請多加注意。

観光交通モードの多様化

交通環境の改善、那覇から本島北部地域や離島への回遊性向上に向けた交通モードの多様化

那覇～本部の所要時間

現在：乗合バスで約2時間

例えば高速船による移動機会の提供により約1時間20分※
+ 船舶移動という新たな観光要素の創出
※過去運航していた高速船の実績



例えば小型飛行機による移動機会の提供による短時間での移動
+ 航空機移動という新たな観光要素の創出



小型機の離着陸が可能な施設

- 空港
- 場外離着陸場
- ◎ 概ね静穏な水域
(利用に当たって具体的な調査は別途必要)



自動運転技術を活用したバスの導入により、観光客の増大に対応した持続可能なバスネットワークを構築し、観光客が利用しやすい交通環境を創出



高速船実証実験における運行事業者の募集

・募集期間

平成30年6月5日(火)～6月29日(金)正午

・実証実験期間

平成30年9月～11月